

令和4年5月 市長定例記者会見

令和4年4月28日(木)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただ今より令和4年5月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表に係る質疑応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、まず挙手をお願いいたします。そして、ご自席のマイクのスイッチを入れていただきまして、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 それでは、5月の定例記者会見、よろしくお願いいたします。

まず先日、4月26、27日で、前ニューヨーク総領事、大使、次期駐カナダ日本国特命全権大使の山野内勘二氏をお迎えして、市民の皆様を対象とした講演会を開催いたしました。今回の訪問では、敦賀高校創生部の案内によりリニューアルした敦賀ムゼウムの視察や高校生との意見交換会、また、「人道の港『敦賀』～ニューヨークから見えた希望～」と題した講演会をしていただきまして、非常に有意義なお話、また経験豊富な話題をいただいたと思っております。人道の港敦賀を誇りに思うことができたと思っておりますし、また、今後カナダに3日から赴任されるということで、カナダにもユダヤコミュニティがあり、ユダヤ人もたくさん住んでいるという話で、また敦賀とのつながりを深めていきたいということをおっしゃっていただきましたので、さらに人道の港が広がっていくのかなと期待しているところです。

また、発表項目にあります、5月7、8日にアメリカのユダヤ人委員会（AJC）の皆さんが敦賀を訪問し、5月11日には、安藤久佳様、経済産業省の事務次官でありましたけれども、安藤顧問の特別講演会が敦賀ものづくり産業懇話会の主催で行われます。100名程度の会場となっており、ぜひ皆さんに来ていただいて、中小企業の活躍の場や社会情勢等について見識を深めていただければと思っております。

それから、あしたからゴールデンウィークが始まりますが、新型コロナウイルス感染症につきまして、福井県では感染拡大警報が5月15日まで発令されております。また、連日感染者も確認されております。市民の皆様には、感染拡大防止対策へのご協力をいただいているところですが、いま一度、感染拡大防止対策の再徹底をお願いしたいと思います。県外との往来の際には、人混みを避け、マスクの着用、手洗いなど基本的な対策を徹底していただく。また大型連休では、ご家族の帰省や、久しぶりにお会いになるご友人との会食など楽しみにされているイベントも多いと思いますが、そのタイミングこそが感染拡大のリスクになると言われておりますので、皆様の心がけをもう一度しっかりとさせていただきたいと思っております。マスクを外すときが感染だと聞いておりますので、どうかよろ

しくお願いいたします。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 2つございます。

1項目目は、令和4年度敦賀市職員採用候補者試験（医療職・看護職）の実施についてでございます。

お手元に配付の資料があると思いますが、令和4年度敦賀市職員採用候補者試験を別紙のとおり実施いたします。

今回募集する職種は、薬剤師、診療情報管理士、臨床検査技師、臨床工学技士、医療ソーシャルワーカー、看護師及び助産師です。受付期間は4月28日木曜日から5月20日金曜日まで、試験は6月5日日曜日に市立敦賀病院で行います。なお、看護師及び助産師を除く医療職試験のみ、第2次試験を7月中旬に実施いたします。最終合格発表は、看護師及び助産師は7月上旬、その他医療職は7月下旬を予定しております。

採用予定人数などの詳細は配付資料に記載しておりますので、よろしくお願いいたします。

それから2項目目ですが、アメリカユダヤ人委員会（AJC）アジア太平洋研究所所長による人道の港敦賀ムゼウム視察及び市長表敬についてでございます。

令和4年5月7日に、アメリカユダヤ人委員会（AJC）アジア太平洋研究所所長一行が人道の港敦賀ムゼウム視察及び表敬のために来敦されますので、お知らせいたします。

今回来訪されますAJCアジア太平洋研究所の所長様につきましては、2019年に使節団として私どもが訪米した際にお会いした方で、当時ムゼウムのリニューアルのPRを行っており、今回の訪日に合わせてムゼウムを視察いただくこととなったものでございます。

発表項目は以上2項目です。よろしくお願い致します。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問を受けたいと思います。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 AJCのほうなんですけれども、AJC自体は、リニューアルする前も含めて、過去にこの団体として敦賀のほうに訪れたというようなことはあったのでしょうか。

【市長】 私どもとして初めてだと考えております。

【記者】 ありがとうございます。

2019年度に一度お会いしたというのが、またこの一つの契機だったというような形ということですかね。

【市長】 2019年、アメリカに行ったときにはロサンゼルスとシカゴとニューヨークに行かせていただきました。それぞれ総領事館と外務省の方々にお世話になったんですけれども、そのときAJCという団体を知らなかったんですが、それぞれの場所のAJCのグループのリーダーの方たちとお話しできましたので、そのご縁でつながっているものと考えています。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【記者】 職員採用試験のことについてなんですけれども、例えば看護師さんとか20名採用予定になっていますけれども、現在は不足というか、その辺はどうなっているのか、教えていただけますでしょうか。

【敦賀病院事務局長】 看護師につきましては、採用数も20名募集をかけているんですけども、途中で退職される方もおりますので、計画どおりにはなかなか増えていかないということです。病院としては徐々に計画的に増やしていきたいと考えておりますが、現在の人数を申し上げますと、4月1日現在では看護職は290名おります。少しでも増加させたいと考えております。

以上です。

【記者】 例えば看護職は、計画では何人ぐらいを配置したいというのがある中での290人なのでしょうか。

【敦賀病院事務局長】 昨年度に条例改正で職員定数を改正させていただいております。その際で、上限ではありますが、301名の看護師が確保できたらということで、内数として条例を改正させていただきました。

以上です。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら、よろしくお伺いいたします。

【記者】 ユダヤのほうのお話なんですけれども、いらっしゃることで今後どういうふうにつながりを広げていきたいのか。例えば観光面での誘致であったりとか、その辺りはどういうふうにお考えでしょうか。

【市長】 先ほどアメリカへ行ったときにお会いしたと話をしたんですけども、そのときに話したのは、ムゼウムが新しくなりますので、それに合わせて来てほしいんですという話をさせていただいて、ぜひ行きますよという話はいただいたんですが、コロナの関係がありまして達成しておりません。A J Cの方たちも含めて発信力のある人たちが来ていただければ、それがいろんな人のつながりというか広がりになっていくと思います。今回、A J Cの方たちが来られるというのは、東京にCEOとか幹部の方が来られるその前段として、日程的に敦賀まで来れないので敦賀に所長さんが来ていただいて、また情報を共有する形を取ると思いますので、その中でつながりを深めていきたいと思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかによろしいでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと移らせていただきます。

これも幹事社さんのほうからお願いいたします。——よろしいでしょうか。

それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 昨日、県のほうが空路の新しいヘリ、ディズニーランドとか恐竜博物館をつなぐという話がありました。敦賀では、どこかそういう拠点をお持ちなのか、これから検討するのか、実現可能性について教えてください。

【副市長】 若狭のヘリポートというのが現在ございまして、敦賀市内にはないかと思えます。将来的にどういったものが敦賀市内にもできるかどうかということについては、まだこれから先の話でございまして、今現行あるヘリポート、あるいは坂井市にあります空港、そういったものを利活用しながら、観光とか医療、防災、そういった面でどういうふうな敦賀市も参画できるかということについて今後検討しながら、その中でヘリポートとかハード面での整備など進めていくという段階でございまして。

【市長】 金ヶ崎とかに緊急時のポートはあったりするんですけども、観光的なものはありませんので、先ほどのA J Cの人たちではないですけども、東京から飛んできてすぐ帰れると、敦賀まで来られない日程が来れるような日程になるということも可能性としては考えられますので、これを機会に少し前向きな検討ができればと思っています。

【記者】 4月1日の記者会見でも質問がありましたけれども、ウクライナ避難民に関してです。敦賀市は避難民の受け入れを表明していますけれども、4月1日以降今日現在に至るまで、また市内受け入れで新たな動きなどはありますでしょうか。

【市長】 私の持っている情報では、新たな受け入れの話はございません。少しそういう話題があったんですけども、ウクライナの国内の中で、ポーランドに行くんじゃなくて少し南のほうに行って避難したら落ち着いたと。落ち着いたらポーランドから日本に来る気持ちは今のところないという返事をいただいていますので今はありません。

ただ、命のビザではないですけども、手を挙げているということにつきましては、あそこに目的地があるということは分かるわけですから、そういう意味ではこういう表明をしていることは非常に大事なことだと考えています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、これもちまして5月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

本日はありがとうございました。

午後1時43分 終了